



## 新たに市内に赴任された病院勤務医へ歓迎の気持ちを伝えました！

10月20日(水)に益田赤十字病院において「赴任医師歓迎事業」を実施しました。コロナ禍で延期していましたが、ようやくの実施となりました。今年度新たに赴任された17名の医師に歓迎の意を伝え、益田の良さを知ってもらうために施設利用券や地元特産品などを贈呈しました。

受け取った医師は「益田は人情のある親しみやすいまちと感じている」「医師としても社会人としても1年目で、今後の人生にも活かせるように頑張りたい」とお礼と抱負を述べました。木谷院長からは「益田に戻ってきた先生もおられ、また益田を選んでくれたことを嬉しく思う。以前と比べ初期臨床研修医も増えて夢のようだ。若い先生も増えた。皆さんの働きやすい環境を整えたい」との言葉がありました。

このたび、ご縁があって益田に赴任された医師の中には、子育て中の方や県外出身の方も多くおられます。益田の豊かな自然と、そこで育まれた食べ物など、益田の良さを感じてもらい、これから先も長く益田の医療を支えていただくことを願っています。



### 日本遺産のまち益田の歩き方

#### 第16回 都茂鉦山跡とおおとしのもと 都茂鉦山跡と大年ノ元遺跡

ました。

近代以降は民間により経営され

されました。

(1842)年には浜田藩領に編入

休山したとされています。天保13

たまり、鉦石の採掘が困難となり

4(1651)年以後、坑内に水が

いたようで、江戸幕府は石見銀山

とともに直轄地としました。慶安

山」とあり、この頃は銀も産出して

(1602)年の文書に「津茂郷銀

また、近世最初期の慶長7

が推測されています。

都茂鉦山の技術者が関わったこと

見銀山近くの大森(大田市)に勧請

されたと伝わり、石見銀山の開発に

町)が、永享6(1434)年に石

が深く信仰した佐比売山神社(乙子

きこととして、都茂鉦山で働く人々

は確認されていませんが、特筆すべ

中世の都茂鉦山についての文献

働した鉦山でした。

休山をはさみながらも千年以上稼

和62(1987)年に閉山するまで、

に都茂郷丸山で銅が出たとあり、昭

実録」によると、元慶5(881)年

平安時代に編纂された「日本三代

に位置します。

都茂鉦山跡は、美都町山本の南部

で発見されたのが大年ノ元遺跡で、

14~15世紀に栄えた全国的にも稀

少な精銅工房跡です。このことか

ら、中世にも都茂鉦山が稼働してお

り、産出された鉦物が当時の益田の

主要な交易品であった可能性が高

まりました。

現在、都茂鉦山跡は、地元有志に

よる「都茂地区直進会」がガイドな

どに取組んでいます。坑道や露頭掘

の跡、鉦山町の跡などを見学できま

す。

### 【問い合わせ先】

益田の歴史文化を活かした観光拠点づくり実行委員会  
文責：市文化財課 ☎ 31-0623



都茂鉦山の坑道跡

問 都茂地区直進会  
☎ 52・2533 (常磐屋)

場 美都町山本  
益田駅から車で約40分

都茂鉦山跡